

まずは情報から

パソコンや携帯電話  
スマートフォンから  
入手!

自分から調べる



メールで設定して  
送られてくる

川の防災情報

川の防災情報

川の防災情報とは、国土交通省が、インターネット等により提供しているサービスであり、各観測所における雨量や水位のリアルタイムのデータをパソコンやスマートフォンを通じて取得できます。住民の方々が自ら氾濫の危険性を知り、的確な避難行動などに役立つように、利用者目線に立った新しい『川の防災情報』を提供しています。



英語版も  
あります!



河川情報アラームメール

河川情報アラームメール

河川情報アラームメールは九州管内の一級水系に配置した雨量・水位観測所の中から、利用者が必要とする観測所を選んで登録すると、基準値を超過した観測所のデータが配信される仕組みになっています。また、配信するタイミングについても、利用者が利用目的に応じて個別に設定できるようになっています。



九州地方の雨量・水位情報を  
メールでお知らせします。

- 場所(観測所)を選択できます。
- お知らせが届く“基準値”も設定できます。



危険性を事前に把握する

身のまわりの危険性を事前に把握する!“ハザードマップポータルサイト”

重ねるハザードマップ

身のまわりの災害リスクを調べる『重ねるハザードマップ』では、自分が住む地域や旅行先など、全国の情報を調べることが出来ます。

重ねるハザードマップ (平成26年6月～) 防災に役立つ様々なリスク情報を1つの地図上に重ねて表示

1 ピクトグラムから選択  
2 重ねたい情報をパネルから選択

土砂災害危険箇所 洪水浸水想定 津波浸水想定 洪水浸水想定+津波浸水想定



浸水リスクについて更に詳しく

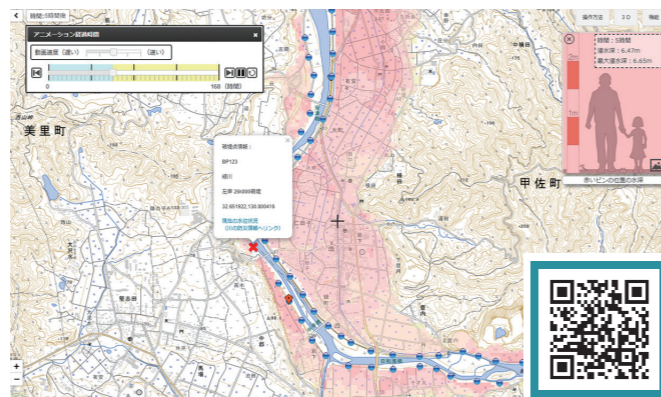
浸水の範囲・深さを知る“浸水ナビ”

浸水ナビ

河川が堤防決壊等により氾濫した際に、いつ・どこが・どのくらいの深さまで浸水するのかをアニメーションやグラフで提供しています。

- 河川の氾濫後、どのくらいの時間で氾濫水が到達するの?
- どのくらいの時間、浸水した状態が継続するの?

自宅などの地点を指定することで  
簡単に把握できます!



いざ というときに 水防活動を支援! 災害時の活動拠点  
緑川船津地区河川防災ステーションが完成

# 緑川船津地区 河川防災ステーション

緑川水系の洪水被害を最小限とするため、災害時の緊急復旧活動を行う上で必要な根固ブロックなどの緊急復旧用資材の備蓄、ヘリポート、甲佐町水防センターなどを整備した災害時の活動拠点となる施設です。



緑川船津地区  
河川防災ステーション

熊本甲佐  
総合運動公園



平成19年7月 洪水



令和7年8月 洪水



# 緑川船津地区河川防災ステーション

水防拠点として緑川流域の皆さんの暮らしを守ります

## 緑川船津地区河川防災ステーションの整備

緑川では、これまで、平成19年7月洪水や令和7年8月洪水など、甲佐町を中心に家屋等の浸水被害が発生しました。

緑川船津地区河川防災ステーションは、洪水被害を最小限に食い止めるため、緑川中上流部における災害時の緊急復旧活動を行う上で必要な水防資材の備蓄、ヘリポート等のほか、甲佐町が設置する水防センターを配置することで、迅速かつ円滑な復旧活動の拠点となります。

また、下流に位置する浜戸川河川防災ステーションに加え、緑川船津地区河川防災ステーションを整備することで、緑川管内の水防機能の均衡化を図り、上流区間に資機材をあらかじめ配備することにより、迅速な対応が可能となります。

さらに、平常時においても駐車場や水防センターを一般開放することにより、水防活動の訓練や防災意識の向上を目的とした防災学習施設として活用できるだけでなく、総合運動公園を利用したイベント開催時の更衣室やシャワー等の利用施設として、また、地域行事等における話し合いや交流、憩いの場等としても活用することが可能となります。

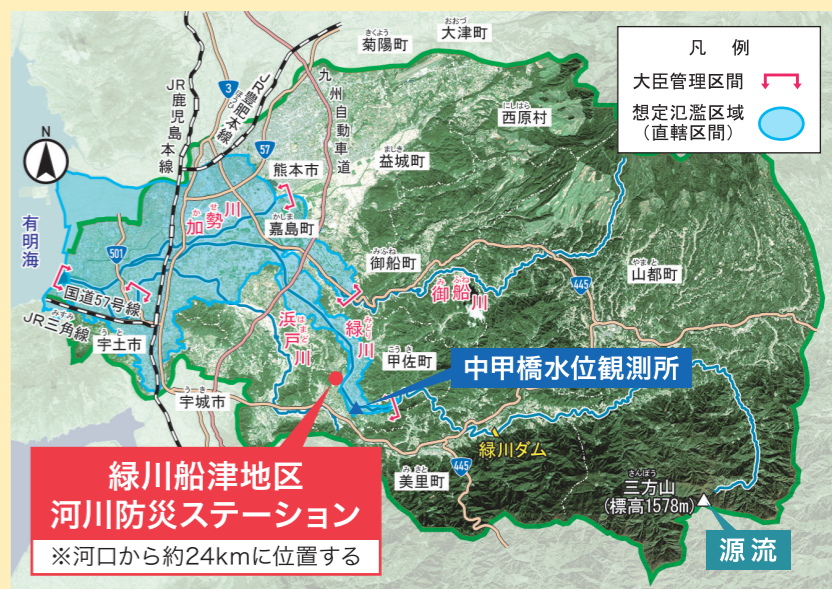


## 緑川流域の概要

緑川は、その源流を熊本県上益城郡山都町の三方山に発し、御船川等の支川を併せて熊本平野を貫流し、下流部において、加勢川、浜戸川と合流し有明海に注ぐ幹川流路延長76km、流域面積1,100km<sup>2</sup>の一級河川です。

緑川上流（中甲橋水位観測所）においては、平成19年7月洪水で氾濫危険水位※（4.6m）を超過し、5.07mを記録。令和7年8月洪水においても、氾濫危険水位を超過し、既往最高水位となる5.36mを記録しました。

※氾濫危険水位とは、川からいつ水があふれ出してもおかしくない危険な状況を示す水位。



## 整備の経緯

令和3年3月  
河川防災ステーション  
整備計画の登録

令和4年3月  
工事開始

令和8年4月  
供用開始



## 設備・施設・水防資材の活用

### 根固ブロック



根固ブロックは、川底や河岸などが削られないように設置するコンクリートブロックです。あらかじめ緊急復旧に必要な資材として備蓄しています。

### 土砂・雑割石



土砂や雑割石は、被災した堤防を復旧する際の盛土材等に使用します。

### ヘリポート

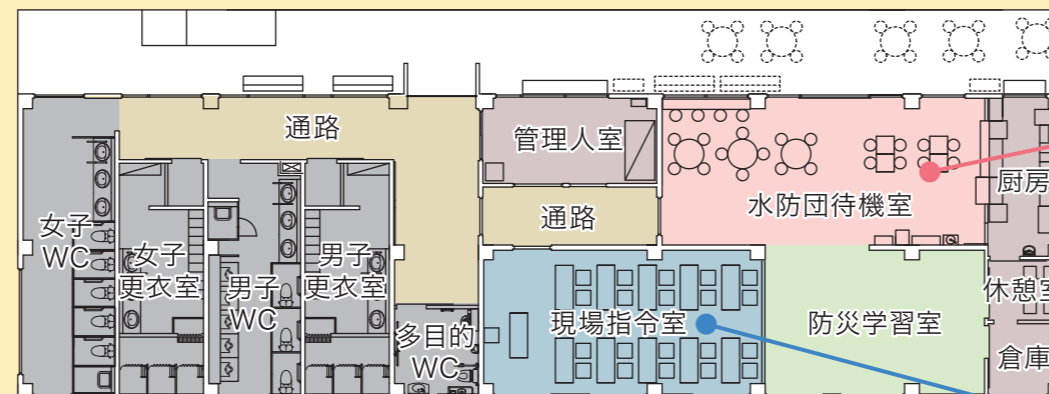


大規模な災害が発生し、道路や橋が使用できなくなったときのために、ヘリコプターの緊急発着場所を確保しています。

## 甲佐町水防センター



甲佐町水防センター  
連絡先  
096-234-1183  
(甲佐町建設課)



### ●災害時の活用

水防活動時の司令室や待機場所・活動拠点施設として使用します。

### ●平常時の活用

水防活動の訓練や防災意識の向上を目的とした防災学習施設として活用できるだけでなく、地域行事等における話し合いや交流、憩いの場等として水防センター内の会議室を開放します。

### ●施設の特徴

総合運動公園を利用したイベント時には水防センターの駐車場、水防センター内のトイレ・シャワー及び更衣室の利用を開放します。